# 風水害への備えできていますか？

丹波市では、これまで7月から10月にかけて梅雨前線による豪雨や台風等で、大きな被害を受けてきました。「うちの家は、被害にあったことがないから大丈夫」「対策工事をしたから大丈夫」と油断せず、家族や近所、自治会等で災害時の避難行動や防災活動について話し合い、突然の災害に備えましょう。

今回は、家庭でできる風水害の備えと、市民のみなさんや地域を災害から守るために日々活動している人々を紹介します。

## 備え 1 防災用語を知る

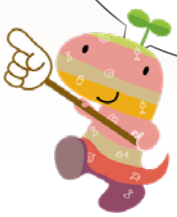
防災用語を正しく理解し、適切なタイミングで行動を起こすことができるように備えましょう。

**「土砂災害警戒情報」**は、大雨警報（土砂災害）発表後、命に危険をおよぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況になったことを、気象庁と都道府県が市町村単位で警戒を呼びかけるものです。

**すばやい避難が大切です**

| 警戒レベル | 避難情報等 | 住民が取るべき行動 | |
|---|---|---|---|
| 5 | 緊急安全確保 | 命の危険<br>直ちに安全確保！ | 屋外での行動が非常に危険な状況です。自宅や近くの安全な場所で命を守る行動を最優先にしてください。 |
| 4 | 避難指示 | 危険な場所から全員避難 | 全ての人が安全な場所への避難、避難行動をする。（立ち退き避難をする最終のタイミング） |
| 3 | 高齢者等避難 | 危険な場所から高齢者等は避難 | 高齢者など避難に時間がかかる人や、河川・山際の近くに住む災害リスクが高い人は避難を始める。その他の人も避難に備えて準備をする。 |
| 2 | 大雨・洪水注意報（気象庁） | 避難行動を確認 | |
| 1 | 早期注意報（気象庁） | 災害への心構えを高める | |

**「土砂災害警戒情報」は、警戒レベル4の「避難指示」です。レベル4までに必ず避難しようね！**



問くらしの安全課
☎82 - 0250

平成16年台風23号
ショッピングセンターで救助を待つ人

昭和58年台風10号
（柏原町母坪）

**被害を受けた主な風水害**

| | |
|---|---|
| 昭和34年9月26日 | 伊勢湾台風 |
| 昭和40年9月9～10日 | 台風23・24号 |
| 昭和47年9月16日 | 台風20号 |
| 昭和58年9月28日 | 台風10号 |
| 平成11年9月7日 | 集中豪雨 |
| 平成16年10月20日 | 台風23号 |
| 平成26年8月16～17日 | 丹波市豪雨災害 |
| 平成30年7月5～7日 | 西日本豪雨災害 |
| 令和4年7月3日 | 集中豪雨 |

## 備え 3 フェニックス共済に加入する

被災後の住宅再建は大きな負担です。兵庫県の住宅再建共済「フェニックス共済」に加入して備えましょう。

■対象 / 地震・豪雨・台風などのあらゆる自然災害による住宅の建築・購入・補修費

■補償額 / 年額 5,000 円の掛金で最大 600 万円
※地震や地震を原因とする火災の住宅被害は、火災保険ではなく地震保険が適用されます。
地震保険の補償額は、火災保険の 30 ～ 50％です。阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、兵庫県が全国に先駆けて住宅再建共済制度を平成 17 年 9 月からスタートしました。

フェニックス共済

\ マイ避難計画を簡単に作ることができる！ /

### ひょうご防災ネットアプリを活用

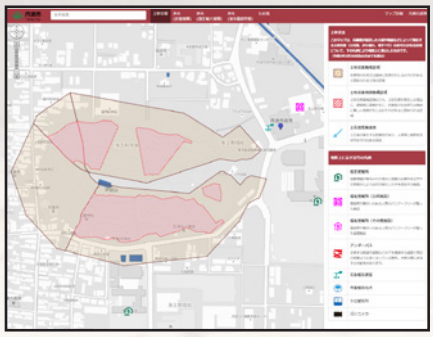
県や丹波市からの「避難に関する情報」などの緊急情報や地震・津波・気象情報などの「防災に関する様々な情報」を提供するアプリです。
各関係機関のサイトにもリンクしており、河川・交通機関・ライフラインなどの情報も確認できます。

防災ネットアプリ

## 備え 2 マイ避難計画を作成

「いつ」「どこに」「どのように」避難するかを決めておくと、いざというときの避難行動に役立ちます。

### STEP1 自宅や地域の災害リスクを確認



丹波市防災マップ

避難行動は地域や自宅の状況によって異なります。防災マップなどから自分の地域の危険性を知ることが必要です。

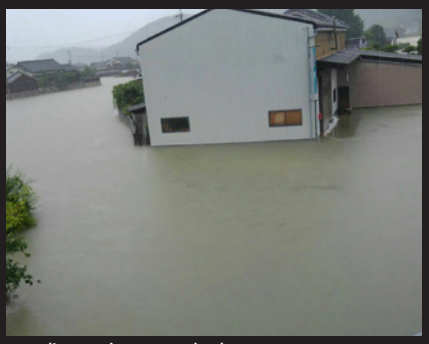
### STEP2 避難を判断する情報を確認

避難指示や情報などの入手方法を確認しましょう。また、最低限の食べ物や飲み物、貴重品（現金・身分証明など）、常備薬など、大切なものを常に持ち出せるように準備しておきましょう。

### STEP3 避難方法・タイミングを決める

危険を感じたり、市町村から避難指示等があった場合は防災マップを確認し、あわてず、速やかに避難しましょう。防風や浸水などで避難場所への避難が危険な場合は、自宅の 2 階など安全な場所へ避難（垂直避難）しましょう。

令和 4 年集中豪雨
（柏原町挙田）



平成 30 年西日本豪雨
（氷上町稲畑）

平成 26 年丹波市豪雨災害
（市島町下鴨阪）

# 地域住民で地域を守る「消防団」

丹波地域合同防災訓練で土のうを積む消防団員

市内全域で活動する女性消防分団員

## 火災や風水害に備えて地域住民らで組織

消防団は火災をはじめ、さまざまな災害時に出動し、消火活動や救出・救護活動など重要な任務に従事しています。地域住民の暮らしを守るため、仕事の傍ら日々訓練に励んでいます。

市内6支団で組織され、団員数は1，687人、内12人が女性消防分団員です（令和6年4月1日時点）。

活動は、火災時の消火、地震や台風、大雨などの災害現場で適切な対応ができるよう、普段から消火や水防などの訓練を行っています。

## 災害時には自宅や職場から駆けつける

消防団員は、地域住民らが普段仕事をしながら、火災発生時などには「自らの地域は自ら守る」という精神に基づき、自宅や職場から駆けつけて活動します。災害時には消防職員らと互いに連携して対応できるよう、日々訓練をしています。

## あなたの力を地域のために

火災や地震、台風、大雨などの非常時に地域を守る消防団員を随時募集しています。会社員や自営業など、職業や性別を問わずいろいろな人が活躍しています。対象は、学生を除く18歳以上の市内在住・在勤の男女です。男性は地元の消防団、女性は丹波市全域で活動する女性消防分団に入団していただけます。年額報酬が支給される他、災害活動や訓練に出動した際には出動手当などが支給されます。詳しくは、市のホームページを確認ください。

ホームページ

### 捜索時も溝のフタまでめくって探す機動力が強み

私が仕事で家を空けている時に、生後10カ月の娘が行方不明になったことがありました。消防団に連絡し捜索を依頼すると、すぐに30人の団員らが動いてくれたこともあり、娘は無事に発見され、とても感謝したことを今でも鮮明に覚えています。素早く駆け付け、地元の人ならではの土地勘を生かして、家と家の間や溝のフタまでめくって探す機動力は、地元消防団の強みです。

消防団筆頭副団長
田中 守（まもる）さん

# 10年、50年に1度の災害に備える「TITAN（タイタン）」

担架に人を乗せたロープレスキュー訓練

職員有志で結成した「TITAN」のメンバー

## 丹波市消防本部の職員有志で組織

丹波市消防本部の職員有志が、救助技術の向上を図ろうと、令和4年6月にロープを使った救助訓練に特化したチーム「TITAN」を組織し、非番日を利用して自主訓練に励んでいます。

メンバーは代表の片桐一樹（かずき）さんほか、26～43歳の5人で、週1～2回、川代公園、旧山南中学校や栗柄（くりから）ダムなどで訓練を行っています。

チーム名は、市のマスコットキャラクター「ちーたん」を英語表記したもので、ギリシャ神話に登場する勇猛な巨神一族「タイタン」、強靭な金属「チタン」に由来しています。その名の通り、鍛え抜かれた強靭な肉体を自在に動かし、勇猛果敢に高所での訓練に汗を流します。

## 最新の技術などを研究

川代公園で行われた訓練では、増水した川の中州に取り残された人を救助するという想定で実施。川代峡谷を流れる篠山川の岸壁と吊り橋に約30mにわたって色分けされた複数のロープを張り、滑車やカラビナなどを組み合わせて救助する訓練に精力を尽くしました。訓練で使用するハーネスやカラビナ、ロープ、担架などの最新の機器や技術を研究し、手ごたえを確認。こうした経験が実際のレスキューにも生かされています。

## 台湾での世界大会に出場

9月に三木市で開催されるロープレスキューの大会や、10月には台湾で開催される世界大会にもチームから2人の出場が決まっており、世界レベルのロープレスキューをめざし、有事に備えた訓練を重ねていきます。

### あらゆる救助事案に備える

レスキューは、10年、50年に1度起きるかもしれない大災害時も失敗は許されません。その時に備えて、日々訓練をしています。消防署でも専用の施設で訓練を行っていますが、ここではより実践に近い環境で訓練できます。最新の資機材を買い揃え、訓練で救助技術を常に更新し、市民の安全安心のため、あらゆる救助事案に対応できるよう備えています。

TITAN チームリーダー
**片桐 一樹さん**